医療法人社団憲仁会　中井記念病院ニュース

感染対策研修

『いま話題の感染症』実施報告

日時　：令和８年１月８日（木）14 時～15 時
対象者　：全職員
目的　：
内容　：・奈良県感染症情報（インフルエンザウィルス・コロナウィルス他）
・薬剤耐性菌について
・医療関連感染症の対策
・手指衛生５つのタイミングと患者ゾーン
講師　：奈良県立医科大学感染症内科学講座　教授　笠原敬　先生

令和７年度、全職員を対象とした感染対策研修を**奈良県立医科大学感染症内科学講座教授、笠原敬先生**をお招きし開催しました。

はじめに、奈良県における感染症の動向について、インフルエンザウィルス、コロナウィルスを中心に講義がありました。ウィルスの性質の変化、症状や治療等、対策とその効果について地域の状況を知ることができました。

次に薬剤耐性菌に関する情報を全国平均と奈良県の傾向をふまえた内容で紹介され、最近増加傾向が指摘、問題視されている ESBL 産生菌や VRE といった薬剤耐性菌について詳細な説明がありました。耐性菌はその種類により特徴や感染拡大の傾向が違うこと、特徴に応じた対策が非常に重要であることを改めて学ぶことができました。当院でもこれらの耐性菌の検出報告数の増加を実感しており、感染対策となる 1.環境と患者の微生物の量を減らす（洗浄、消毒、滅菌、清掃、環境整備、換気等）2.微生物の伝播経路を遮断する（手指衛生、個人防護具）3.感染を起こさない対策（清潔・無菌操作）4.薬剤耐性菌（微生物）を減らす（抗菌薬の適正使用等）を徹底していかねばならないと実感しました。特に感染源を断つ！感染経路を断つ！！ために必要な「手指衛生の５つのタイミング」「患者ゾーンについて」の項目では動画が活用され、研修参加者がより具体的にイメージできる内容となっていました。

手指衛生を適切に実施することは患者を守るだけでなく私たち医療従事者を守ることとなり、基本となる感染対策を病院全体が日々実践することで、安全な環境とすることができます。今回の研修の内容をスタッフ個々が十分に理解し、基本的な感染対策を徹底して取り組んでいきたいと思います。

貴重なご講演をいただき、ありがとうございました。

医療法人社団憲仁会中井記念病院　感染対策委員会